

ミキブルーンスーパーカレッジバレー2016

競技上の注意事項

全日本大学バレーボール連盟競技委員長

- 1 本大会は2016年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- 2 競技方法について
 - (1) グループ戦からトーナメント戦3回戦までを3セットマッチとし、トーナメント戦4回戦以降は5セットマッチとする。
 - (2) グループ戦でシード校が1位にならないとシード権を失い、1位のチームがトーナメントシード権枠に入る。第1～16シードチームはトーナメントからの参加となる。
- 3 試合球について
 - (1) モルテン社製カラーボール (V5M5000) を使用する。
 - (2) グループ戦・トーナメント戦は、3ボール制で行う。ただし、準決勝以降は5ボール制とする。
- 4 競技開始時刻について (雨天時や練習会場が無い場合も同様)
 - (1) 試合開始時刻は、第1試合のみ設定し、第2試合以降は前の試合終了10分後にプロトコールを開始する。
 - (2) グループ戦から決勝トーナメントへ移る際は、各会場の全グループ戦終了後20分後にプロトコールに入るので各チームで試合の状況を把握しておくこと。
 - (3) グループ戦での連続試合は、前試合終了15分後にプロトコールに入る。また、トーナメント戦での連続試合は、前試合終了20分後にプロトコールに入る。
 - (4) 試合の進行状況によっては、コートの変更を当該チームに依頼することもある。
 - (5) チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告される。
 - ① 試合開始時刻が設定されている場合は、試合開始時刻より15分後までとする。
 - ② 試合開始時刻が設定されていない場合は、プロトコール終了より15分後までとする。
 - (6) 試合前の待機中のチームについて
 - ① 前試合終了後の挨拶が終了するまでアリーナに入ることを禁止する。
 - ② ボールをボールカゴから出して手に持って待機することも禁止する。
- 5 公式練習について
 - (1) 公式練習は、サーブ権を得たチームから5分間ずつ、合同の場合は10分間とする。ただしグループ戦、トーナメント戦3回戦までは、サーブ権を得たチームから3分間ずつ、合同の場合は6分間とする。
 - (2) 公式練習にはベンチに着席を認められた最大**19名**以外参加を認めない。
(選手14名、スタッフ5名)
 - (3) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー (クイックモップラーを含め最大5名) を配置すること。ただし、ボールキーパーは公式練習に参加することはできない。
 - (4) ボールカゴおよび部旗等は、試合開始後に競技エリア外へ出すこと。部旗は床に倒して置くこと。

6 選手登録について

- (1) 公益財団法人日本バレーボール協会、および全日本大学バレーボール連盟に有効に登録され、且つ本大会にもエントリーされていること。
- (2) 有効に登録、及び本大会にエントリーされていない選手が試合に出場した場合
 - ① 試合中に発覚した場合 →6人制競技規則 7.3.5.4 に沿って処分をする。
 - ② 試合終了後に発覚した場合 →没収試合とする。

7 チーム役員について

- (1) チーム役員には、1名以上有資格者（文部科学大臣事業認定・（財）日本体育協会公認バレーボールコーチ、バレーボール上級コーチ、バレーボール指導員、バレーボール上級指導員）がいること。チームに有資格者がいない場合、当日有資格者がエントリーされていない場合は、ベンチスタッフは部長のみとする。（別紙①参照）
- (2) トレーナーとしてベンチに入る場合は、医師、看護師および医療免許資格を有する者とする。但し、当分の間、科学研究委員会が認めた、日本赤十字社、消防署、各学連の主催する安全管理及び救急救命・応急処置等の講習会に参加し認定書を交付された者とする。また、トレーナーとしてベンチに入る者は、全日本大学バレーボール連盟が配布した証明書を試合中に提示している状態にすること。
- (3) 部長は正装（ジャケット、ネクタイ着用等）とする。監督・コーチ・トレーナー・マネージャーは原則として季節に応じて、統一された服装とする。ただし、Tシャツの着用は認めず、襟付きのシャツのみとする。ただし、シャツの上に統一されたトレーニングウェアを着用してもよい。
- (4) 部長がトレーニングウェアを着用する場合は、役員全員が統一されたものを着用すること。
- (5) 部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャーは役員章（部・監・C・T・M）を左胸に付けること。
- (6) チーム役員の試合途中参加はその都度できる。
 - ① 遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。
 - ② 役員章を着けること。
 - ③ 監督の場合は、副審に許可を得てセット間に記録用紙にサインをした後、次のセットから監督としての役割ができる。
 - ④ 選手の試合途中参加はその都度できる。遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。

8 試合当日のエントリー用紙の提出について

- (1) 第1試合は、開始設定時刻の30分前までに、本部席エントリー係へ提出すること。
- (2) 第2試合以降は、前の試合の1セット終了までに本部席エントリー係へ提出すること。ただし、2試合目のチームは第1試合が始まるまで提出しないこと。
- (3) エントリー用紙提出後の変更は認めない。
- (4) 部長以外（監督・コーチ・トレーナー・マネージャー）の役員を変更する場合
 - ① 特段の理由がある場合は、臨時役員変更届をエントリー係に提出し許可を得ること。
 - ② スタッフの追加登録を定められた期限までに完了している場合に限る。

9 ユニフォームについて

- (1) チームキャプテンは長さ8cm、幅2cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを胸の番号の下に明瞭に付けること。
- (2) リベロの着用するユニフォームは、チームの他の競技者と明確に識別できる対照的な色であること。リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ベストを着用させることも

ある。

- (3) ソックスについては長さと色を統一し、刺繍（ロゴマーク等）のワンポイントまでの違いは認める。尚、くるぶしの見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は認めない。
- (4) アンダーウォーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。

10 学生補助役員（参加チーム）の人数について

- (1) 学生補助役員は14名で行う。（ラインジャッジ4名、スコアラー2名、点示2名、ボール・リトリバー6名）
- (2) 第1試合の役員については第3試合の両チームが以下のように分担すること。
※第3試合が勝者同士の試合の場合は、第2試合の両チームが下記の分担で行う。
 - ① 組合せ表上側のチームが6名で行う。（ラインジャッジ4名、スコアラー2名）
 - ② 組合せ表下側のチームが8名で行う。（点示2名、ボール・リトリバー6名）
- (3) 試合開始10分前までに記録席に集合すること。
- (4) 第2試合以降の学生補助役員はグループ戦、トーナメント戦で以下のように異なる。
 - ① グループ戦は勝者チームが全て担当すること。
 - ② トーナメント戦は敗者チームが全て担当すること。
 - ③ 人数が不足する場合は、対戦した相手チームに協力を依頼すること。
 - ④ チームで統一された服装（ユニフォーム可）で行い、任務を遂行すること。
 - ⑤ 前試合終了直後の担当となるので速やかに記録席に集合すること。

11 スポンサー規定について

試合中の競技用品（ユニフォーム、サポーター、ベンチスタッフウェア、シューズ）は、日本バレーボール協会公認企業以外のロゴの露出を禁止しているため、どの企業の製品か十分注意すること。

公認企業以外のロゴはテープ等で隠すこと。

※ ユニフォーム公認企業（アシックス、デサント、ミズノ、ファイテン）

※ サポーター公認企業（アシックス、デサント、ミズノ、D&M、ザムスト、ファイテン、イグニオ）

※ シューズ公認企業（アシックス、デサント、ミズノ、アディダス）

以上